

(別紙)

第21回医薬品副作用被害等救済給付審査申立検討会:2014年1月31日(金)

副作用等被害救済給付の決定内容に係る審査結果

番号	主な原疾患等	医薬品名	副作用名※	理由	審査結果
1	緑内障術後	ケフレックス、ルル、セデスG	中毒性表皮壊死症に続発した視力障害	障害等級1級に該当するため	容認
2	ブドウ膜炎	なし	なし	医薬品以外の原因によるため	棄却
3	感冒	インダシン坐剤50、パナシ錠、ボンタールカプセル250mg	皮膚粘膜眼症候群(スティーブンス・ジョンソン症候群)	医薬品の副作用とは別に生じた疾病に係る医療であるため 救済給付の対象となる入院相当の医療でないため	棄却
4	心房細動、MR、バナルジンによる汎血球減少、脳梗塞	ブラビックス錠75mg(疾病) なし(障害)	薬物性肝障害 なし(障害)	不適正使用であるため	棄却
5	慢性腎不全維持透析、胃前庭部毛細血管拡張症	注射用フサン50	アナフィラキシー(様)ショック及びそれに続発した脳梗塞(疾病) 言語機能障害(障害)	障害等級2級に該当するため	容認
6	子宮内膜症、尿失禁、下痢、上気道炎、下肢血流障害、腰痛等	なし	なし	医薬品以外の原因によるため	棄却
7	強迫性障害、不安、抑うつ	なし	なし	医薬品以外の原因によるため	棄却
8	悪性腫瘍、症候性てんかん、脳浮腫、肺炎、悪心、逆流性食道炎、認知症、前立腺肥大症	デモダールカプセル20mg、フェノバル錠30mg、バクタ配合錠、タケブロンOD錠15	中毒性表皮壊死症(ライエル症候群)(疾病) 中毒性表皮壊死症(ライエル症候群)による死亡(死亡)	機構法第4条第5項第1号の規定に基づき厚生労働大臣が指定する救済対象から除外する医薬品であるため	棄却
9	変形性頸椎症、右肩凝り	なし	なし	医薬品以外の原因によるため	棄却
10	上気道炎、頭位変換性めまい症、不眠症	なし	なし	医薬品以外の原因によるため	棄却
11	統合失調症、不眠症	ロヒプノール錠1、ロヒプノール錠2、セロクエル25mg錠、デパス錠0.5mg、ドグマチール錠200mg(疾病) なし(障害)	悪性症候群、薬剤性パーキンソニズム及びそれによる症性斜頸(疾病) なし(障害)	原疾患に係る医療であるため 医薬品以外の原因によるため	棄却
12	透析用シャント作成手術後	なし	なし	医薬品以外の原因によるため	棄却
13	非定型精神病(躁とうつの波、てんかん性脳波異常、病相期の幻覚)、腰椎々間板症、双極性感情障害	—	—	—	保留
14	統合失調症	ルーラン錠4、ルーラン錠8	遅発性ジスキネジア(疾病) 遅発性ジスキネジアによるそしゃく・嚥下機能障害および構音障害(障害)	障害等級非該当であるため	棄却
15	うつ病	ドグマチールカプセル50mg、セロクエル25mg	遅発性ジスキネジア(疾病) 遅発性ジスキネジアによる体幹機能障害(障害)	障害等級非該当であるため	棄却
16	重症筋無力症	ブレドニゾン錠5「ホエイ」	左側大腿骨骨頭無腐性壊死、左側上腕骨骨頭無腐性壊死(疾病) 左側大腿骨骨頭無腐性壊死、左側上腕骨骨頭無腐性壊死による肢体機能障害(障害)	障害等級について判定不能であるため	棄却
17	分娩誘発(予定日超過、高出生体重児の疑い)	—	—	—	保留
18	膝関節炎、腰痛、C型肝硬変、肝細胞癌、胸腹水、肝性脳症、敗血症、腎不全、嘔気	判定不能	判定不能	判定不能	棄却
19	関節リウマチ	アザルフィジンEN錠500mg	汎発型薬疹、心膜炎	救済給付の対象となる入院相当の医療でないため	棄却
20	慢性C型肝炎	なし	なし	障害が認められないため	棄却

※副作用のうち、当該医薬品の副作用と認められなかった場合については「なし」と記載。